

ナテグリニド錠 30mg 「テバ」

ナテグリニド錠 90mg 「テバ」

【この薬は？】

販売名	ナテグリニド錠 30mg 「テバ」 Nateglinide Tab. 30mg “TEVA”	ナテグリニド錠 90mg 「テバ」 Nateglinide Tab. 90mg “TEVA”
一般名	ナテグリニド Nateglinide	
含有量 (1錠中)	30mg	90mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、速効型食後血糖降下剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、すい臓に作用しインスリン分泌を促進して食後の血糖値が上昇するのを抑えます。
- ・次の目的で処方されます。

2型糖尿病における食後血糖推移の改善

ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。

1. 食事療法・運動療法のみ
 2. 食事療法・運動療法に加えて α -グルコシダーゼ阻害剤を使用
 3. 食事療法・運動療法に加えてビッグアニド系薬剤を使用
 4. 食事療法・運動療法に加えてチアゾリジン系薬剤を使用
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重いケトアシトシス状態（深く大きい呼吸、意識がなくなる、手足のふるえ）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、1型糖尿病（インスリンがごく少量しか分泌されないか、あるいは全く分泌されないタイプの糖尿病）の人
- ・透析を必要とするような腎臓に重篤な障害がある人
- ・重い感染症にかかっている人、最近手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人
- ・過去にナテグリニド錠「テバ」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・肝臓に障害がある人
- ・腎臓に障害がある人
- ・虚血性心疾患の人
- ・脳下垂体機能に異常がある人、副腎機能に異常がある人
- ・下痢、嘔吐（おうと）などの胃腸障害がある人
- ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人、衰弱している人
- ・激しい筋肉運動をしている人
- ・飲酒量が多い人
- ・高齢の人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ナテグリニド錠 30mg 「テバ」	ナテグリニド錠 90mg 「テバ」
一回量	3錠 (効果不十分な場合、最大4錠)	1錠 (効果不十分な場合、最大ナテグリニド錠 90mg 「テバ」を1錠とナテグリニド錠 30mg 「テバ」を1錠)
飲む回数	1日3回毎食直前	1日3回毎食直前

効果的に血糖上昇を抑えるため、毎食直前10分以内に飲んでください。

この薬は使用後速やかに効果があらわれますので、食前30分の使用では食事開始前に、低血糖をおこす可能性があります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。(低血糖をおこすことがあります。)

指示された時間に飲み忘れたら、1回とばして次の指示された時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・低血糖症状（空腹感、冷や汗、めまい、ふらつき、動悸（どうき）、脱力感、気分不良、手足のふるえ、意識がうすれるなど）があらわれることがあります。高所作業や自動車などの運転中に低血糖をおこすと事故につながります。特に注意してください。低血糖症状があらわれた場合は、通常は砂糖を飲んでください。 α -グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース等）を併用している場合は、ブドウ糖を飲んでください。この薬を使用するにあたっては、患者さんおよびご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を2～3ヵ月使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。
- ・不養生や感染症の合併などにより薬が十分に効かなくなることがあります。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。







このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
肝機能障害 かんきのうしようがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
突然死 とつぜんし	気を失う

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる
頭部	意識の低下、気を失う
顔面	血の気が引く
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気
胸部	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい
腹部	お腹がすく、食欲不振
手・足	手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	ナテグリニド錠 30mg 「テバ」	ナテグリニド錠 90mg 「テバ」
PTP シート	 表面 裏面	 表面 裏面
形状	フィルムコーティング錠	
		
直径	7.1mm	8.1mm
厚さ	3.6mm	3.9mm
重さ	124mg	174mg
色	白色	淡赤色
識別コード (本体コード)	ナテグリニド  30	ナテグリニド  90

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ナテグリニド錠 30mg 「テバ」	ナテグリニド錠 90mg 「テバ」
有効成分	ナテグリニド	
添加剤	β -シクロデキストリン、結晶セルロース、クロスポビドン、クロスカルメロースナトリウム、乳糖水和物、ポビドン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール 400、カルナウバロウ	β -シクロデキストリン、結晶セルロース、クロスポビドン、クロスカルメロースナトリウム、乳糖水和物、ポビドン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール 400、三二酸化鉄、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

発 売 元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL（フリーダイヤル）：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）

製造販売元：日医工岐阜工場株式会社